


平成 28年 7月 6日

報 告 書

大田原市広報広聴委員会委員長 大豆生田 春美 様

大田原市議会 第4班班長 高瀬重嗣 

大田原市議会報告会実施要項第9条第1項の規定により、下記のとおり報告いたします。

記

1. 日 時 平成28年6月30日(木) 午後7時00分～8時10分
2. 会 場 大田原市役所湯津上庁舎103・104会議室
3. 担当議員と役割
【担当議員】
 - 高瀬重嗣 (班長・司会者)
 - 小野寺尚武 (総務常任委員会発表者)
 - 高瀬重嗣 (民生 ")
 - 大豆生田春美 (建設産業 ")
 - 星雅人 (文教 ")
 - 引地達雄 (総務常任委員会)
 - 高野礼子 (建設産業常任委員会)
4. 参加者 別紙受付表のとおり
 - ・市内 31名(男性23名、女性 8名)
 - ・市外 7名(男性 7名、女性 0名)

5. 主な意見と要望

テーマ① 「地域公共交通について」

・朝晩は通勤通学者で大型バスが満員の状態で運行しているが、日中にはその大型バスがほとんど空車の状態で走っていることが多い。省エネの観点からもったいないのではないか。

- ・ デマンド交通の状況はどうなっているのか。
- ・ 地域ので（ご近所さん同士で）移動手段を持たない人の世話をすることも重要。
- ・ 湯津上地区にもデマンドバスが欲しい。すぐでなくてもいいが欲しい。
- ・ バスの時間が多いといい。
- ・ 東野鉄道の路線跡にバスかデマンドバスが欲しい。
- ・ 乗り合いバスにしたほうが経費がやすくなるのか。
- ・ 現状がわからないと改善策が出せない。
- ・ 免許返上の代替案を出さなくてはけない。一年間だけのバス無料では足りないのでは。
- ・ 今日来ている人たちは運転しているので、まだピンと来ない。免許返上して、その後利用しやすい形になるような方法があればいい。
- ・ 弱者のためにどのように救済できるか、というシステム作りが必要。湯津上でも充実させていただきたい。デマンドは有効だと思う。
- ・ テーマが大きすぎる。

テーマ② 「今後の議会報告会のあり方について」

- ・ 一か所は大きな会場で全議員参加で開催してはどうか。
- ・ 土日開催を考えるなど開催日時・場所の検討をしてほしい。
- ・ 車座形式は続けてほしい。
- ・ 議会において意見がわかれたものに賛成反対の意見を持つ議員を一人ずつ呼び考えを述べてもらう形式。
- ・ 報告会で市民憲章唱和をしてはどうか。
- ・ 報告内容・資料が手元に欲しい。配るべき。
- ・ 活動の説明が文字ばかりなので、写真・イラストを使って説明してほしい。
- ・ プレゼンの字が小さい。
- ・ 何を市民の人に知ってもらいたいかわからない。市民の意識調査に沿ったテーマ設定など、市民が興味がありそうなところに絞ってほしい。
- ・ もうちょっと時間が欲しい。
- ・ 政策のPDCAを回していくことが必要。
- ・ 議会報告会のポスターにテーマを入れてほしい。
- ・ 視察に興味がある。視察の報告をしてもらうと、人が増えるのではないか。なぜそこになくちゃいけなかったのかをきちんと説明しなくてはいけない。
- ・ 第2、3、4回になるとよくなっていくように、議員と市民でお互いよくなるよう勧めてほしい。
- ・ 次回の報告会の最初に今回のフィードバックをおこなってもらいたい。

6. 議会報告会の所感等

- ・意見交換会のテーマが伝わっていないので、ポスターに大きく記載するなどして、より伝わりやすいように周知すべき。
- ・意見交換会に入る前に、テーマの内容を説明し、共通理解をはかってからテーマにはいるとよい。
- ・参加者に配る資料を作成し、プレゼンの内容はより見やすくまとめるべき。
- ・委員会報告の内容をよりわかりやすく、市民に興味のあるテーマにしていくべき。